

決済動向

— 平成9年3月 —

(平成9年5月12日)

1. 日本銀行における決済関連計数

3月の日銀当座預金受払（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースでは3.4万件（前年比+8.6%）、金額ベースでは335.4兆円（前年比+5.8%）となった。金額の内訳をみると、当座預金振替等は311.4兆円（前年比+6.2%）、民間の集中決済制度にかかる資金決済は16.6兆円（前年比+4.4%）となった。

3月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで7.9万件（前年比+59.5%）、金額ベースで221.5兆円（前年比+83.5%）となった。また、日本銀行における振込国債の口座振替（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで4.8万件（前年比+22.0%）、金額ベースで260.1兆円（前年比+30.7%）となった。

3月の国庫金取扱高（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースで76.0万件（前年比+2.4%）、金額ベースで7.8兆円（前年比+6.5%）となった。

3月の日本銀行における銀行券受払高（月中合計）は受入高6.9兆円（前年比+6.3%）、支払高7.8兆円（前年比+1.3%）となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱件数・金額をみると、3月の手形交換高（東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均）は、枚数ベースでは42.6万枚（前年比+7.7%）、金額ベースでは5.8兆円（前年比-2.6%）となった。

3月の全銀システム取扱高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは440.2万件（前年比+10.6%）、金額ベースでは11.3兆円（前年比+14.5%）となった。

3月の外為円決済交換高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは4.3万件（前年比+14.0%）、金額ベースでは43.4兆円（前年比+27.5%）となった。

3. その他

3月の東京金融先物市場の取引数量（円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均）は11.5万契約（前年比+1.9%）、月末の建玉数量は130.9万契約（前年比+24.8%）となった。

2月、3月のS W I F T総送信件数（本邦分、月中合計）は、それぞれ228.6万件（前年比+6.8%）、239.3万件（前年比+11.8%）となった。

(信用機構局)